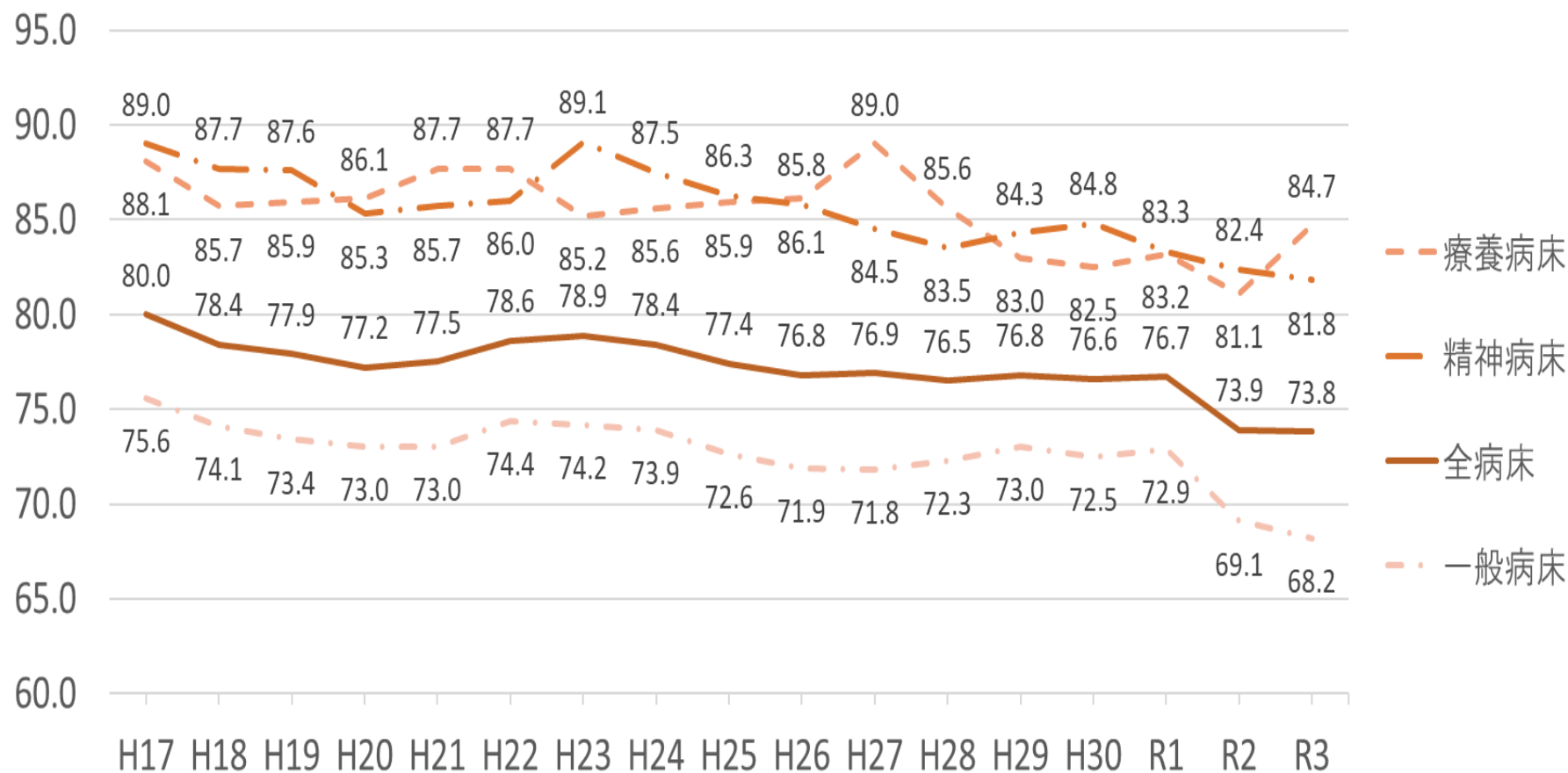


1. 宮城県における医療機能分析結果 病床利用率の年次推移

参考資料 1

- 病床種別によって傾向はやや異なるものの、全病床において、緩やかな減少傾向にある。
- 特に一般病床では、令和3年で68.2%まで減少しており、10年前の平成23年と比較して6.0ポイント低下している。



2. 仙台医療圏における医療機能分析結果① 病床機能別病床稼働率と1日あたり患者数の推移

- 急性期については、1日あたり患者数が一定数あるものの、病床稼働率は減少傾向にある。また、4機能のうち急性期が最も病床稼働率が低く、効率を高める余地があると推察する（図1）。
- 回復期については、令和2年度までは、1日あたり患者数、病床稼働率が共に増加傾向にあったが、令和3年度以降は減少傾向にある（図1）。

図1：病床機能別稼働率の推移（**仙台医療圏**）

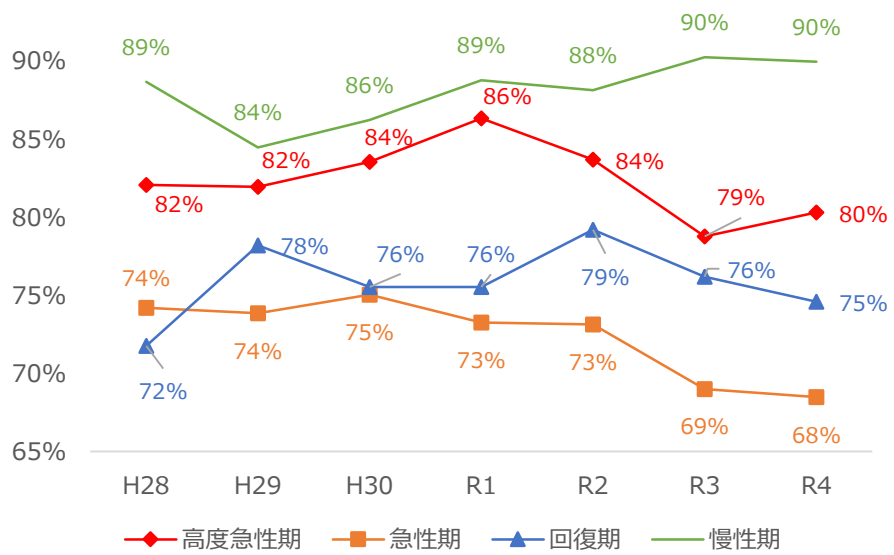
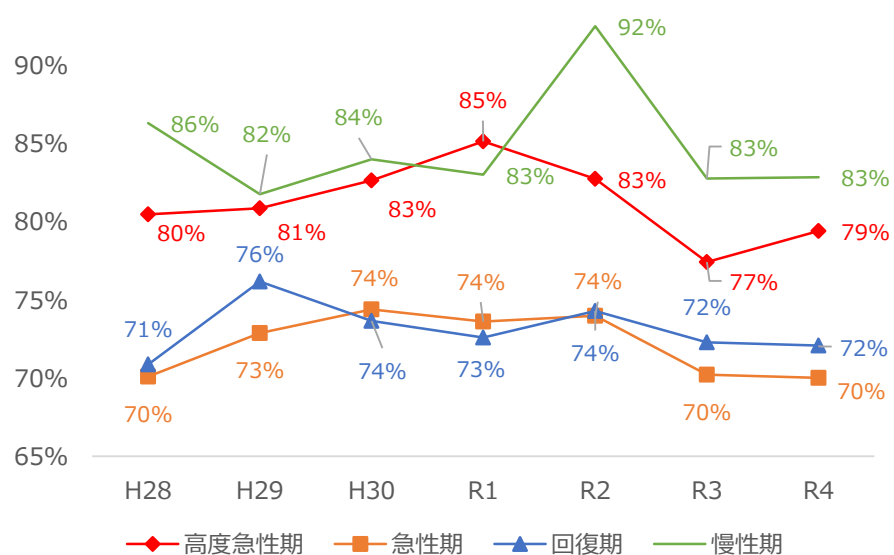


図2：病床機能別稼働率の推移（**宮城県**）



病床機能別1日あたり患者数の推移（**仙台医療圏**）

単位：人/日	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
高度急性期	2,064	1,905	1,956	1,811	1,591	1,556	1,566
急性期	4,886	5,049	4,943	4,940	5,073	4,702	4,694
回復期	775	936	970	1,025	1,113	1,075	1,060
慢性期	1,800	1,722	1,848	1,871	1,710	1,711	1,733
総計	9,578	9,612	9,769	9,679	9,487	9,043	9,053

病床機能別1日あたり患者数の推移（**宮城県**）

単位：人/日	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
高度急性期	2,114	1,975	2,032	1,881	1,665	1,619	1,630
急性期	7,188	7,733	7,422	7,348	7,392	6,784	6,769
回復期	1,238	1,422	1,581	1,746	1,834	1,883	1,813
慢性期	3,070	3,040	3,232	3,296	3,430	3,108	3,223
総計	13,662	14,170	14,319	14,302	14,320	13,392	13,436

3. 仙台医療圏における医療機能分析結果②

医療機関別病床稼働の状況

○ 一般病床及び療養病床を有する病院の平均病床稼働率は 74 % となっている。

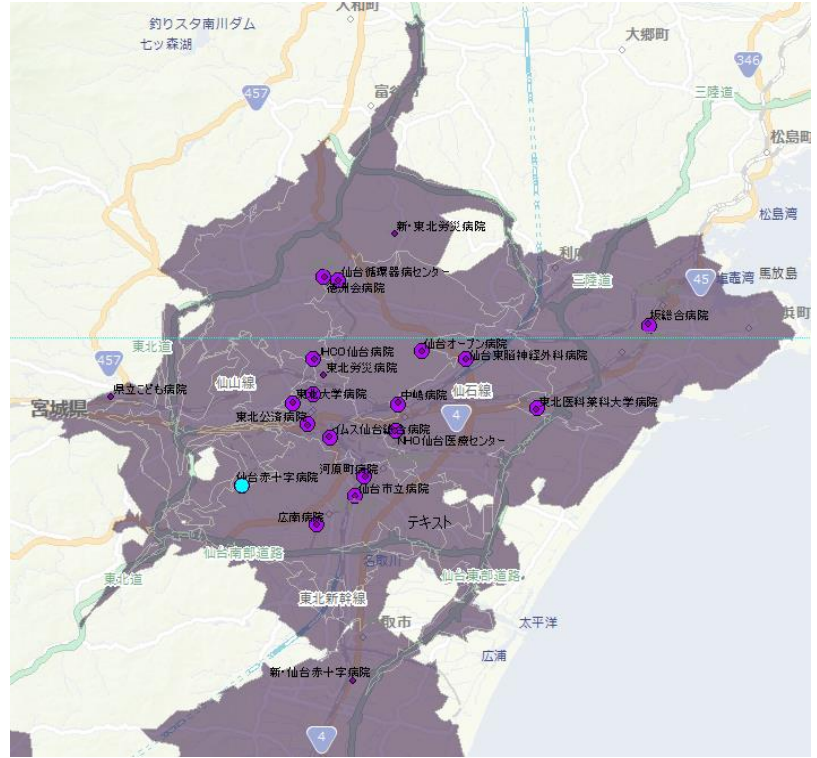
医療機関名	許可病床数 (一般＋療養)	1日あたり 患者数	病床稼働率
東北大学病院	1,118	849.0	75.9%
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	628	478.6	76.2%
東北医科薬科大学病院	554	393.4	71.0%
独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院	548	350.9	64.0%
仙台市立病院	467	345.9	74.1%
独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院	440	347.3	78.9%
仙台厚生病院	409	439.6	107.5%
独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院	394	301.0	76.4%
仙台赤十字病院	389	113.7	69.4%
国家公務員共済組合連合会東北公済病院	385	243.6	63.3%
宮城県立がんセンター	383	243.4	63.6%
公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院	357	286.0	80.1%
医療法人 徳洲会 仙台徳洲会病院	347	247.1	71.2%
独立行政法人国立病院機構宮城病院	344	261.3	76.0%
公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院	330	256.6	77.8%
総合南東北病院	271	229.7	84.8%
宮城県立こども病院	241	155.6	64.6%
西仙台病院	229	230.9	100.8%
一般財団法人広南会 広南病院	207	171.5	82.9%
独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院	199	110.9	55.7%
J R 仙台病院	192	72.1	37.5%
公立黒川病院	170	115.6	68.0%
富谷中央病院	164	140.6	85.7%
塩竈市立病院	161	117.5	73.0%
医療法人翠十字社都千愛病院	156	150.1	96.2%
中嶋病院	151	157.7	104.4%
仙台整形外科病院	146	84.3	57.7%
医療法人 實樹会 仙塩総合病院	143	115.3	80.6%
光ヶ丘スベルマン病院	140	94.2	67.3%
公益財団法人宮城厚生協会長町病院	135	120.3	89.1%
医療法人財団明理会 イムス明理会仙台総合病院	130	118.7	91.3%

医療機関名	許可病床数 (一般＋療養)	1日あたり 患者数	病床稼働率
東北医科薬科大学若林病院	127	87.5	68.9%
医療法人社団葵会 葵会仙台病院	125	122.7	98.2%
医療法人 松田会 松田病院	125	125.2	100.1%
仙台エコー医療療育センター	120	109.2	91.0%
一般財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター	116	79.0	68.1%
医療法人 實樹会 仙塩利府病院	108	60.7	56.2%
岩切病院	100	89.9	89.9%
宮城利府救済会病院	100	71.2	71.2%
泉ヶ丘クリニック	98	89.3	91.1%
公益財団法人宮城厚生協会泉病院	94	75.2	80.0%
医療法人 ひろせ会 広瀬病院	93	79.2	85.1%
仙台東脳神経外科病院	93	67.0	72.1%
仙台リハビリテーション病院	82	70.5	85.9%
一般財団法人周行会 内科佐藤病院	81	75.1	92.7%
医療法人社団赤石会 赤石病院	79	56.3	71.3%
スズキ記念病院	78	28.4	36.4%
貝山中央病院	60	57.0	95.1%
自衛隊仙台病院	60	6.3	10.5%
仙台中江病院	60	50.0	83.3%
宮城中央病院	58	26.5	45.7%
松島病院	54	39.3	72.7%
泉整形外科病院	54	35.5	65.7%
医療法人 宏人会 木町病院	53	19.1	36.1%
河原町病院	52	49.2	94.5%
早坂愛生会病院	52	47.1	90.5%
仙台中央病院	48	45.7	95.1%
伊藤病院	40	0.0	0.1%
泌尿器科泉中央病院	38	13.8	36.4%
平成眼科病院	30	16.2	53.8%
安田病院	20	18.8	94.0%
総計	12,226	9,053.2	74.0%

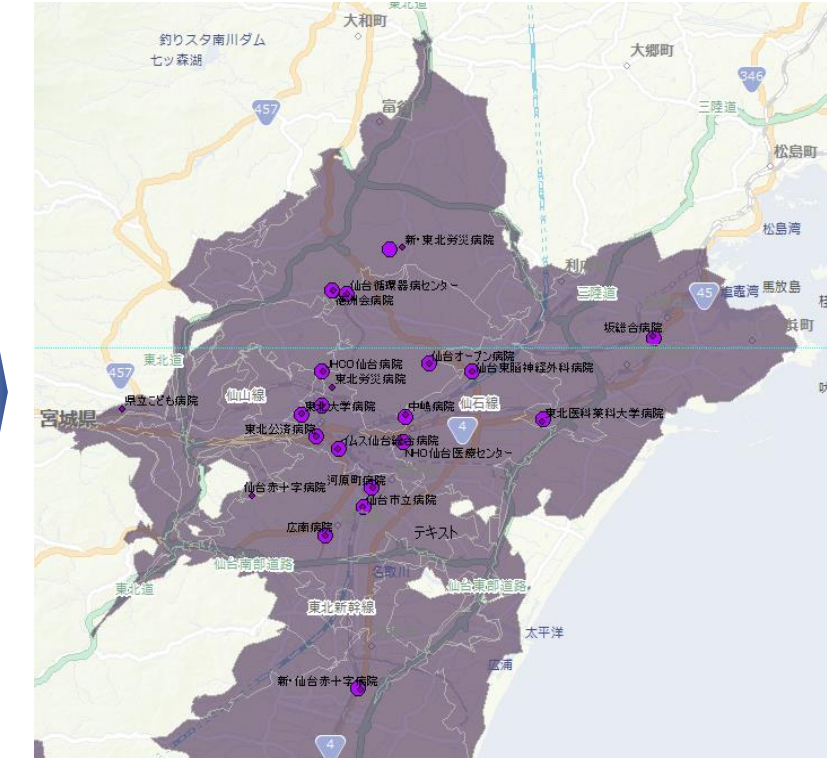
4. 仙台医療圏における医療機能分析結果③ 救急の拠点病院から15分の車運転で行ける範囲

- 救急の拠点病院から車で15分で行ける範囲を搬送範囲と想定した上で、今回の病院再編前後のカバー範囲を図示したもの。
- 移転に伴い、青葉区で微減となるが、移転候補地である名取市と富谷市のほか、太白区、大和町においても増加となり、医療圏全体の救急搬送体制の向上が期待される。

【救急の拠点病院からの15分運転時間範囲（移転前）】



【救急の拠点病院からの15分運転時間範囲（移転後）】



市区町村名	メッシュ人口*1	現在の所在のカバー人口*2	新たな所在のカバー人口*3	増減	増減率	現カバー率*4	新カバー率
青葉区	310,562	285,333	285,132	▲ 200	▲0.1%	91.9%	91.8%
太白区	226,688	206,598	215,272	8,674	4.2%	91.1%	95.0%
名取市	79,508	69,108	72,027	2,920	4.2%	86.9%	90.6%
富谷市	54,204	44,315	47,929	3,615	8.2%	81.8%	88.4%
大和町	29,819	2,395	5,039	2,644	110.4%	8.0%	16.9%

左表は、病院再編前後でカバー率に変動が生じる市区町村を抜粋して表記（他の市区町村では変動は生じない）

*1 国土交通省による2015年国勢調査データから推定された2020年の500mメッシュ人口の総和
*2 厚生病院は雨宮の新病院として計算
*3 労災、日赤が移転した場合
*4 市区町村のメッシュ人口に対するカバー人口の割合